

一般社団法人飯田青年会議所 広報誌

編集責任者

事務局長

小島昭平



未来 8月号

2023.8

vol.63 No.684

未来

一般社団法人飯田青年会議所
長野県飯田市常盤町 41 番地
TEL. (0265) 23-7875
FAX. (0265) 23-7872
E-mail:info@iidajc.com
URL http://www.iidajc.com

2023年度 スローガン：結集する若き力 ~未来へ繋ぐための一歩~



飯伊わんぱく相撲大会



6月例会



小学生南信州ナンバー図柄コンテスト



7月例会



飯伊わんぱく相撲大会



委員長
林 直彦

飯田青年会議所の歴史と共に歩んできたわんぱく相撲は、新型コロナウイルスの影響により、2年間の休止期間を経て、昨年再開を果たし、今年は団体戦も復活いたしました。

今年の参加者は25名と少なかったものの、全ての取り組みに、その場にいた全員が心熱くなり、彼らの努力と情熱に感動しつつ、相撲の魅力と伝統を次世代に伝える重要性を改めて認識しました。

県大会でも健闘し、全国大会への出場を決めた選手も3名生まれました。みんなの想いを背負い、全国大会でも活躍し



てくれるように、全力でサポートしたいと思えます。

今後は参加者を増やすため、より一層の努力を重ねていきたいと考えています。地域の子供たちが相撲を通して夢や目標を持ち、地域の絆を深める場として、飯伊わんぱく相撲を大切に育んでいきます。

今後も素晴らしい大会が出来るよう、飯田青年会議所一丸となって取り組みます。ご支援ご協力の程、よろしくお願いたします。

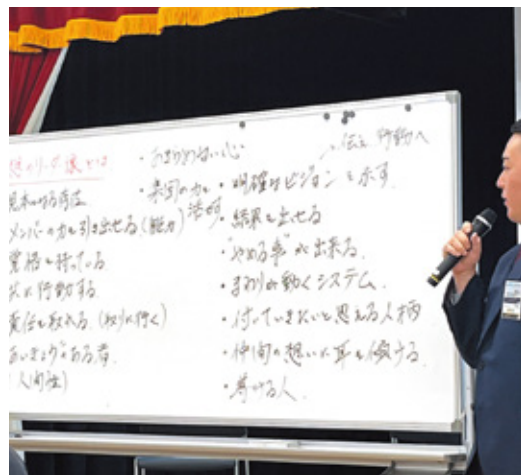
6月例会 リーダーシップを学ぶ 「土塾」



副委員長
清水優一郎

6月例会は当初、6月2日に予定していましたが、梅雨前線に伴う大雨による災害の危険性が高まったため、急遽延期を判断し、6月16日に行いました。

この例会は、これからの南信州地域における様々な課題を解決し、未来を切り拓くことのできる有能で勇敢なリーダーを育成することを目的としました。また、会員拡大と飯田JCIの認知度向上を図るため、丘の上結いスクエアを会場に、一般参加者18人とともに和やかな雰囲気の中で開催することができました。



論語に「士は以って弘毅ならざるべからず」とあり、士とはリーダーのこと、そういう立場にある人は弘毅でなければならぬ。弘とは器量と度量の大きさであり、毅とは強い意志と実行力を指します。

講師に、飯田市長・南信州広域連合長の佐藤健氏をお招きし、リーダーシップと南信州地域のブランドデザインについて

てグループワーク等を通じ、学び合いました。

南信州地域の魅力を一言で言い表せるようにすること。これが今後の課題です。

小学生南信州ナンバー 図柄コンテスト



委員長
本田貴久

5月から7月にかけて、「小学生南信州ナンバー図柄コンテスト」を開催しました。飯田下伊那に暮らす小学生（約8000人）に応募用紙を配り応募を募ったところ、合計1265作品もの応募をいただきました。その後、当会議所で行った審査の結果、「低学年の部」と「高学年の部」それぞれから10作品ずつ、合計20作品を選定し、表彰式において受賞者に表彰状と共に、ご協賛いただいた企業様からの賞品を副賞





として贈呈いたしました。今後、受賞作品(20点)は、一般公募で集まった作品と共に審査され、南信州ナンバーの図柄として実際に採用される可能性もあります。

このコンテストは、南信州ナンバーの図柄を子どもたちにも考えてもらうことで、地域への意識や思いを高める機会を創出することを目的とした事業でした。今後、子ども達が自分達の地域の事を思いながら、さまざまな分野で成長し、地域社会への貢献や発展に力を注いでいってくださることを願います。



7月例会

副委員長
今井健太

7月例会のテーマは「エンターテインメント」でした。普段はものすごく

身近に感じるものですが、改めてエンターテインメントを勉強するということは、自分自身も今回の例会が初めての試みでした。委員会プレゼンテーションのパワポを自分自身で作ること自体も初めてだったので不安が大きかったですが、楽しみとワクワクの方が強かったです。

今回プレゼンをするにあたって一番意識したことは「僕自身がエンターティナーになる」ことでした。15分という短いようで長い時間を、いかに聞いているみんなに楽しんでもらえるか、退屈させないかを念頭におきながらプレゼンをしました。

そもそもエンターテインメントとは何かということから始まり、エンターテインメントの定義や具体例、全国各地や飯田下伊那のエンターテインメントなどの内容を盛り込み、普段知ることのないエンターテインメントを学びました。

講師の方によるプロジェクションマッピングは、これまた圧巻で会場の中にあるものに映像を映し出して会場の中そのものがエンターテインメント一色に染まっていました。音楽と映像の融合でこ



んなにも感動するのかとプロジェクションマッピングの力を思い知りました。

この体験を通じてこんなところでこういうことができるんじゃないかなど、我々の若き力で飯田下伊那郡にエンターテインメントを巻き起こす大きなヒントになりました。



南信州アルプスフォーラム総会・勉強会



New Leader 育成推進室
副理事長
北村崇綱

7月3日、飯田下伊那を代表する企業、組織から多くの参加者が集まり、南信州アルプスフォーラムの総会・勉強会が開催されました。

はじめに総会では、外松会長より「飯田下伊那のまちづくりを研究、提言してきた南信州アルプスフォーラムは、30周年の節目となる今年度末で解散する意向がある」と発言がありました。1994年、住民参加のまちづくりを目指そうと、飯田JCから生まれた南信州アルプスフォーラム。長い歴史と数々の功績に敬意を表すと共に、このまちの為に、決して歩みを止めてはならないと感じました。

勉強会では、リニア中央新幹線の開業後を見据えた中心市街地のまちづくり構想をまとめた『提言書』が佐藤市長へと託されました。飯田文化会館の移設、まちなかMICEと言った丘の上全体をイメージしてきた数年間の集大成です。

リニア開通はこの地にとって千載一遇のチャンスであり、予想を上回る大きな変化が訪れます。未来を想像し、これからの南信州を創造することは、今の私た

ちの使命です。飯田J.Cの財産である「南信州アルプスフォーラム」を今後どのように継承していくか。多世代が関わり更なる進化をしていきたいと思っております。

新会員自己紹介

Funk委員会

新会員

山口大貴

今年新規入会いたしました、有限会社



プロショップ山口商店の山口大貴と申します。趣味はサッカー観戦(松本山雅FC)と、スーパー銭湯巡りです。

本年度は林委員長率いるFunk委員会に所属し飯田青年会議所の核となる事業【わんぱく相撲大会】【高校生の光り輝く姿を残そう！プロジェクト】を中心に活動させていただきます。

まだまだ右も左もわからない状況ではありますが、委員長を中心とした事業の



成功への熱いパワーをひしひしと感じており、もう既に自分にもその熱さが引火しております！

Funk委員会として【楽しませるためにはまず自分が楽しむ】をモットーにJC事業を自分の中で全力で楽しみその姿をみた方たちが【飯田青年会議所に入会したい!】と思えるような1年にしていきたいと考えております。

また、併せて長野ブロック協議会へ出向も致しますのでどんどん参加し【飯田JCに山口有り!】と思われるように精進いたしますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新会員自己紹介

BOOSTUP委員会

新会員

下平美成



今年から飯田青年会議所に入会いたしました

ました、BOOSTUP委員会と事務局次長を兼任しています、下平美成と申します。よろしくお願い致します。

飯田信用金庫で営業係として外回りをしており、現在は座光寺地区を担当しております。ご預金からご融資、事業にかかるご相談まで幅広くご案内、ご提案しております。

小学生のときは水泳と剣道をしており、中学・高校と陸上で短距離走をしておりました。今は全然走れませんが毎週



ランニングをしています。大学では農学部で樹木を専門にしており、葉っぱと幹をみて樹種を覚えていたので若干ですが詳しいかもしれません。大学は名古屋へ行っていましたが、就職のときに慣れ親しんだ地元に戻り働きたいと思ったのがきっかけで信金へ就職いたしました。これからの飯田を支え、作り上げていきたいと考えています。皆様、よろしくお願ひ致します。





毎日アドレナリン生活!!

飯田JC会員募集中

私達の活動に参加してみませんか?